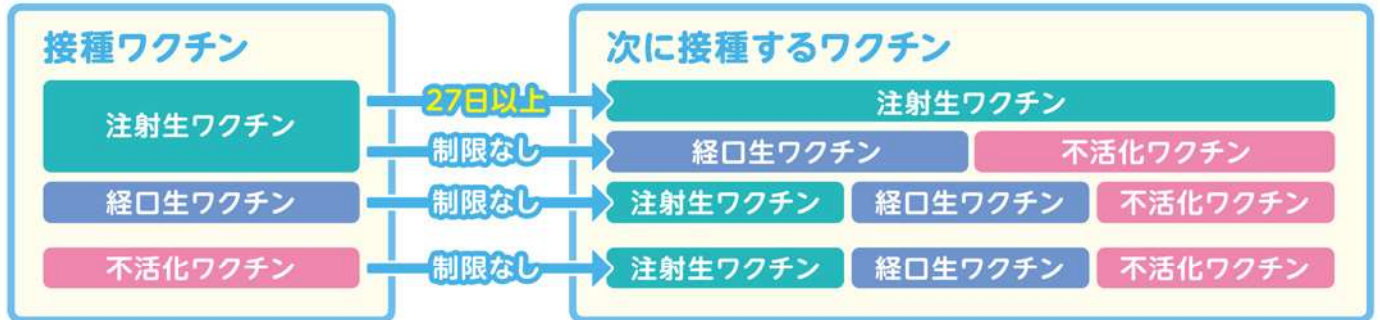


予防接種

予防接種とは、病気に対する免疫をつけたり、免疫を強くしたりするために、ワクチンを接種することをいいます。接種した本人が病気にかからないようにすること、また、感染により社会に病気がまん延してしまうのを防ぐことを主な目的としています。また、病気にかかったとしても、予防接種を受けていれば重症化を防げる場合があります。副作用や各ワクチンの接種時期などを考慮して、早めにスケジュールを立てましょう。

● ワクチンの種類と予防接種の間隔



・生ワクチン……ウイルスや細菌の病原性を弱めてつくったワクチンです。その病気にかかったときとほぼ同じ仕組みで免疫力がつきます。そのため、まれにその病気と同じ症状が現れることがあります。
 ・不活化ワクチン……ウイルスや細菌を殺し、免疫をつくるのに必要な成分を取り出して病原性を無くしてつくったワクチンです。生ワクチンに比べて免疫力がつきにくいので、数回の追加接種が必要です。

● 予防接種のポイント

ワクチンは、種類ごとに接種できる時期や推奨期間が決められています。また、生ワクチンか不活化ワクチンかによって、次の予防接種までに必要な間隔も異なります。そのため、事前にしっかり調べてスケジュールを組み立てましょう。また、子どもの体調や周囲の感染症発生状況も考慮しましょう。詳しくは、お近くの医療機関や保健所などにご相談ください。

POINT1 当日はここをチェック

- 子どもの体調はよいか、熱があったり、ふだんと変わったところはないかなどを確認しましょう。
- 心配なことがあるときは、医師に相談しましょう。質問をメモしておくとなんか伝わりやすくなります。
- 母子健康手帳は必ず持って行きましょう。



POINT2 接種後の注意

- 接種後30分くらいは、体調に変化があってもすぐ対応してもらえるように、医療機関の中で子どもの様子を見て過ごすか、すぐに医師と連絡がとれるようにしておいてください。この間に急な体の変化が起こることがあります。
- 帰宅後もはげしく体を動かすようなことはさせず、接種箇所を清潔に保ってあげましょう。
- お風呂には入れてもかまいませんが、接種箇所をこすらないでください。



予防接種を受けたことは将来、その病気に対して免疫があることを示す大事な記録となります。母子健康手帳は大切にしておきましょう。予防接種を受けるにあたっての注意点など、より詳しく知りたい方は右記の二次元コードからご覧になれます。

公益財団法人 予防接種リサーチセンターHP→



● 造血細胞移植後の任意予防接種費用助成事業

造血細胞移植により、移植前に接種した定期予防接種の効果が低下、または消失したと医師に判断された人が、任意予防接種として再接種する費用を助成します。

※事前に申請が必要ですので、必ず接種前に市こども家庭課までお問い合わせください。



予防接種

予防接種の対象者に対して個別の案内は送付しておりません。予防接種の詳細は、市のホームページをご覧ください。

■接種料金:無料

■持参するもの:母子健康手帳 (※子宮頸がんワクチンの2回目以降の際は、接種済証も持参してください。)



ワクチン名	法律上の対象年齢		接種間隔	
ヒブ (インフルエンザ菌b型)	生後 2か月 ～ 5歳に 至る まで	接種 開始 年齢	生後2か月～ 7か月に 至るまで	初回 接種 生後12か月に至るまでに、27日以上(標準として56日まで)の間隔で3回 接種。 追加 接種 初回接種終了後、7か月以上の間隔をおいて1回接種。ただし、初回2回目 及び3回目の接種が完了していない場合は、初回接種に係る最後の注射 終了後、27日以上の間隔をおいて1回接種。
			生後7か月～ 12か月に 至るまで	初回 接種 生後12か月に至るまでに、27日以上(標準として56日まで)の間隔で2回 接種。 追加 接種 初回接種終了後、7か月以上の間隔をおいて1回接種。ただし、初回2回目 の接種が完了していない場合は、初回接種に係る最後の注射終了後、 27日以上の間隔をおいて1回接種。
			1歳～5歳に 至るまで	－ 1回接種
			1歳	－ 60日以上の間隔をおいて2回接種
小児用肺炎球菌	生後 2か月 ～ 5歳に 至る まで	接種 開始 年齢	生後2か月～ 7か月に 至るまで	初回 接種 生後24か月に至るまでに、標準的には生後12か月までに、27日以上 の間隔をおいて3回接種。ただし2回目の接種が12か月を超えた場合、3回 目は行わない。(追加接種は実施可能。) 追加 接種 初回接種に係る最後の注射終了後、60日以上の間隔をおいた後 であって、生後12か月に至った日以降に1回接種。
			生後7か月～ 12か月に 至るまで	初回 接種 生後24か月に至るまでに、標準的には生後12か月までに27日以上 の間隔で2回接種。 追加 接種 初回接種に係る最後の注射終了後、60日以上の間隔をおいた後 であって、生後12か月に至った日以降に1回接種。
			1歳	－ 60日以上の間隔をおいて2回接種
			2歳～5歳に 至るまで	－ 1回接種
B型肝炎	生後1歳に至るまで		生後2か月に至った時から生後9か月に至るまでの期間を標準的な接種期間として、 27日以上の間隔をおいて2回接種した後、第1回目の接種から139日以上の間隔を おいて1回接種する。	
ロタ	生後6週以上24週0日未満 (1回目は生後14週6日までの接種を推奨)		ロタリックス(1価)2回	[1回目接種後27日以上あけて2回目]
	生後6週以上32週0日未満 (1回目は生後14週6日までの接種を推奨)		ロタテック(5価)3回	[それぞれ27日以上あける]
ワクチン名	法律上の対象年齢	望ましい接種時期	接種間隔	
四(三)種混合 (ジフテリア、破傷風、百日せき、ポリオ) ※三種混合はポリオを除く ポリオ	第1期 生後2か月～ 7歳6か月に至るまで	生後2か月～12か月	初回…20日以上、標準として56日までの間隔をおいて 3回接種	
		1期初回後 1年～1年6か月後	追加…初回終了後、6か月以上の間隔をおき1回接種	
二種混合 (ジフテリア・破傷風)	第2期 11歳以上13歳未満	11歳	1回接種	
B C G (結核)	生後1歳に至るまで	生後5か月～8か月 未満	1回接種	
麻しん風しん混合	第1期	1歳以上2歳に至るまで	1回接種	
	第2期	小学校就学前1年前にある5歳以上7歳未満	1回接種 2024年度対象者は平成30年4月2日～平成31年4月1日生まれ	
水痘	生後1歳以上 3歳未満	1歳	3か月以上(標準として6か月以上)の間隔をおいて2回接種	
日本脳炎	第1期	生後6か月～ 7歳6か月に 至るまで	3歳	初回…6日以上(標準として28日まで)の間隔をおいて2回接種
			初回接種終了後 概ね1年の間隔	追加…初回終了後6か月以上経過した時期に1回接種
	第2期	9歳以上13歳未満	9歳	1回接種
※平成16年4月2日から平成19年4月1日生まれの方は特例的に不足回数を接種できる場合があります。 詳しくは市こども家庭課へお問い合わせください。				
子宮頸がん	年度内に12歳から16歳までになる女子 (小学6年生～高校1年生相当) ※平成9年度から平成19年度生まれの 方は、キャッチアップ制度あり。		3回接種 ※ワクチンは3種類あります。 ・サーバリックス:初回接種から1か月、6か月後に接種 ・ガーダシル:初回接種から2か月、6か月後に接種 ・シルガード:初回接種から2か月、6か月後に接種 (シルガードは15歳になる前に初回を接種し、5か月以上の間隔を おいて2回目を接種した場合、2回接種)	

予防接種

P6～10に関する 問い合わせ先 筑紫野市役所 こども家庭課 ☎923-1115